

事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.23)No.	4040	(H.24)No.	4040
-----------	------	-----------	------

事務事業名		耐震性貯水槽設置事業	
担当部局名	担当室名	室長名	連絡先
消防本部	消防救急室	辻本 全教	63-5990
新・継	事業期間	根拠法令等	
継続	平成 年度 ~ 平成 年度	消防法	

事業区分 (複数選択可)	ソフト施策事業
	扶助費
	補助金交付金
	投資事業
	施設等維持管理
	内部管理事務
特別及び企業会計、組合	

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	3	人が行き交い活力あふれる、安全で快適な暮らし
	基本政策	2	安全で安心な地域づくり
	施策	2	消防・救急
	小施策	1	消防体制の充実・強化
重点施策コード			

2. 予算区分

会計区分	事業コード	453701
一般会計	(中事業名)	予算書事業名
款	消防費	耐震性貯水槽設置事業
項	消防費	(小事業名)
目	消防施設費	耐震性貯水槽設置事業

3. 事務事業の概要

<p>事業概要</p> <p>大地震が発生した場合でも消火活動等に使用できる耐震性貯水槽を計画的に設置する。</p>	<p>めざす効果(事業目的)</p> <p>耐震性貯水槽の適正配置で、消防水利の多様化を推進し、震災時における確実な水利確保と水利不便地の解消を図る。</p>
--	---

4. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	平成23年度 (実績・決算見込)		平成24年度 (計画・作成時予算額)		
	[事業内容(事業量)・事業費]		[事業内容(事業量)・事業費]		
主な事業の実績・計画	[消防広域化施設等整備費補助金(県補助)] 耐震性貯水槽 1基 結馬 40m ³ 型 6,174千円		[消防防災施設等整備費補助金(国補助)] 耐震性貯水槽 2基		
直接事業費	6,174千円		10,472千円		10,472千円
財源内訳 (千円)	国庫支出金		5,236		5,236
	県支出金	2,618			
	地方債	3,500	4,700		4,700
	その他()				
一般財源	(0) 56	0	536	0	536
人工数	職員	0.20人	0.20人		0.20人
	臨時職員等				
概算人件費	(0千円) 1,460千円	0千円	1,460千円	0千円	1,460千円
+ 総事業費	(0千円) 7,634千円	0千円	11,932千円	0千円	11,932千円

現在の実施手法(複数選択可)	
<input type="checkbox"/>	市が直接実施
<input type="checkbox"/>	業務委託(全部・一部)により実施
<input type="checkbox"/>	指定管理
<input type="checkbox"/>	補助金・交付金
<input type="checkbox"/>	その他 ()

平成25年度 (計画)	平成26年度 (計画)	平成27年度 (計画)
----------------	----------------	----------------

[消防防災施設等整備費補助金(国補助)] 耐震性貯水槽 2基		[消防防災施設等整備費補助金(国補助)] 耐震性貯水槽 2基
--------------------------------------	--	--------------------------------------

概算人件費 は、人工数に便宜上、1人当たり年間平均人件費(市一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載しています。平成23年度の()内の数値は、22年度からの繰越事業費で、外数で記載しています。特別会計及び組合会計の一般財源欄には当該会計上の一般財源を、企業会計の一般財源欄には一般会計繰入金を記載しています。平成25年度以降の計画(内容及び総事業費)については、予定であり確定したものではありません。

5. 主な事業指標と成果

事業指標名		単位	H.20 (現状値)	H.21	H.22	H.23	H.24	
活動指標	目標	耐水性貯水槽整備状況	基	88	93	93	94	94
	実績			88	93	93	94	
	目標							
	実績							
	目標							
	実績							

6. 考察(前年度の評価)及び今後の対応方針

考察(前年度の評価-各指標等)	今後の対応方針
順調に目標を達成できている。	引き続き、事業を推進し、より良い成果を得られるよう努める。

7. 事業を取り巻く環境

事業環境の今後の変化 (対象者やニーズ、法令・制度の改正等)	市民・議会・事業関係者・団体等からのこれまでの主な意見
国庫補助事業の配分方針の改正により、零細補助金額が950万円から500万円に下がったため、隔年で2基ずつ設置する方針とする。	水利不便地の地域から耐震性貯水槽(防火水槽)の設置要望がある。

8. 担当室による点検 [事務事業をより良く(最適化)するために]

点検項目	具体的内容(選択肢 ・ の場合) (4)は の場合
(1) 現在の事業費内で、更に効果を高める方法や工夫等を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない できない	
(2) 効果・効率性の観点から他の事務事業と連携・統合を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない できない	
(3) 新たな財源確保や受益者負担の見直し等を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない できない	
(4) 事業に関係する地域ビジョン(地区別計画含む)はあるか [選択肢] ある ない ない	
(5) 事業に地域ビジョンの内容を反映しているか(反映するか) [選択肢] 反映済み 反映を予定 反映予定なし(該当しない) 反映予定なし(該当しない)	
(6) その他、有効性や効率性を高めるための工夫や取組を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない できない	

9. 今後の方向性(担当室による内部評価)

[選択肢] 継続(事務改善) 継続(現行) 継続(拡大) 休止・廃止検討 事業完了(完了予定含む)

継続(現行)

「継続(現行)」の場合のみ理由を記載

災害に迅速・的確に対応するため、継続して耐震性貯水槽を整備していく必要がある。

特記事項